

図書室だより

平成24年10月
川本南小学校

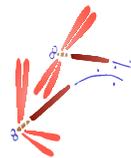
10月に入ってやっと秋らしくなり、食べ物がおいしく、勉強や運動によい季節となりました。今、図書室では”ハロウィン”の飾り付けをしています。かわいい魔女やお化けがいますので、見に来てください。



”ハロウィン”とは、古代ケルト民族（中央アジアの草原から馬車を持ってヨーロッパに渡来した民族）の1年の終わりと定められた10月31日に行われる祭りで、この夜は悪霊が作物を荒らすと信じられていました。そこから秋の収穫を祝い、悪霊を追い出す祭りが行われるようになりました。

9月にたくさん本を読んだ人

7冊	1の2	かみやまりなさん
	1の2	まつもとまさとさん
6冊	2の1	いいのまおさん
5冊	3の1	野澤理央さん
	2の1	えはらななみさん
	2の1	こじまなみさん
	1の2	さいきたいせいさん



9月の図書室利用人数（1日平均）・・・21人



☆ 夏休み前の特別貸出の本をまだ返却していない人は返却してください。



作者紹介

角野 栄子（かどのえいこ）

1935年生まれ。東京都在住。

大学卒業後出版社に勤務。その後ブラジルに2年間滞在。帰国後児童文学の世界に入る。「ズボン船長さんの話」で旺文社児童文学賞、「魔女の宅急便」で国際アンデルセン賞国内賞、小学館文学賞、野間児童文芸賞を受賞。

代表作

「ネッシーのおむこさん」
「魔女の宅急便」
”小さなおばけ”シリーズ



本の紹介



『リンゴさんとのろいさん』

だれも遊んでくれなくておこったリンゴちゃんは、リンゴ山のこわーいのろいさんと呼び出しました。世界一わがままなお人形リンゴちゃんのおはなし。



『スパゲッティがたべたいよう』

おばけのアッチはとてくしいしんぼ。ある日、夕やけの空を飛んでいると、下のほうからとてもいいにおいがしてきました。

ふかや必読書30

『詩集 おかあさん セレクト版』

サトウハチロー／著

わんぱくで不良だった彼が、母へのわび状の気持ちを込めてつづった「おかあさんの詩」。子どもを愛する思い、母をしたう思い、やさしい思いがいっぱいつまっています。

